

資料6

健全な水循環 再生のために

[民間団体活動事例集]



はじめに

水は、川や海の水が蒸発し、森林や農地、宅地などに雨や雪として降り注ぎ、ゆっくり川に流れるとともに、土の中にしみ込み、地下水となって流下し、また海に戻るという循環をしています。この循環の過程において、人は、生活用水や農業用水など様々な形で水を利用し、使われた水は、再び川や海へと戻っていきます。

健全な水循環は、川や地下水の水量を確保するだけでなく、土壌への浸透や流れの過程において水質を浄化するとともに、多様な生態系を維持し、人と水がふれあう水辺を保全するなどの重要な機能を有しています。

しかし、人間社会の営みと水循環の機能との間でアンバランスが生じ、都市とその周辺の河川や海域の水質汚濁、生物多様性の喪失、水辺の減少、都市型水害の発生などの問題が生じています。このような水循環再生に関する問題を少しでも解決の方向へ導くためには、民間団体による地域における自主的な環境保全活動は、大変重要な役割を担っています。

そこで、民間団体の活動内容を広く県民の皆様にご覧いただき、活動への関心や理解を深めていただくことにより、新たな参加や取組の機運を高めることを目的に活動事例集を作成しました。

この冊子は、「自分の力を誰かのために役立てたい」「豊かな自然を守っていききたい」「かけがえのない自然を次の世代に引き継ぎたい」と熱意をもって取り組んでいる民間団体の活動を紹介するものです。これがきっかけとなり、県民の皆様には様々な団体が行っている活動を少しでも身近に感じていただき、そして、水循環再生のための活動がますます活性化することを願っています。

最後に、発行にあたりまして、詳細なアンケートや取材そして資料提供にご協力いただきました民間団体の皆様にご心からお礼を申し上げます。

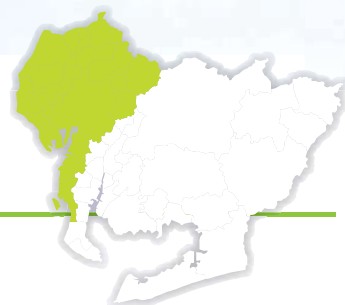
平成26年2月

尾張地域／西三河地域／東三河地域
水循環再生地域協議会

(事務局:愛知県環境部水地盤環境課)

目次

- はじめに
- 健全な「みずじゅんかん」をとりもどすために



尾張地域

伊勢・三河湾流域ネットワーク	尾-01	特定非営利活動法人 祖父江のホタルを守る会	尾-11
一宮平成ホタルの会	尾-02	特定非営利活動法人 トンボと水辺環境研究所	尾-12
岩倉の水辺を守る会	尾-03	特定非営利活動法人 土岐川・庄内川サポートセンター	尾-13
大山川を愛する市民の会	尾-04	特定非営利活動法人 どんぐりモンゴリ	尾-14
春日井市消費者グループなすなの会	尾-05	特定非営利活動法人 藤前干潟を守る会	尾-15
下地蔵川美化推進協議会	尾-06	NEXPO(長久手・万博継承会)	尾-16
地域環境活性化協議会	尾-07	モリコロの川を守るプロジェクト	尾-17
天白・川辺の楽校	尾-08	矢田・庄内川をきれいにする会	尾-18
特定非営利活動法人 愛知環境カウンセラー協会	尾-09	山崎川グリーンマップ	尾-19
特定非営利活動法人 香流川をきれいにする会	尾-10		



西三河地域

NPOたかはま	西-01
刈谷環境支援員の会	西-02
ちせいの里ロックエンゼルの会	西-03
特定非営利活動法人 おやこでのびっこ安城	西-04
認定特定非営利活動法人 地球温暖化対策地域協議会 エコネットあんじょう	西-05
鳥川ホテル保存会	西-06
半田こどもエコクラブ	西-07
東幡豆漁業協同組合	西-08
へきなん市民環境会議	西-09
矢作川をきれいにする会	西-10
矢作区ワークショップ実行委員会	西-11
渡し場かもめ会	西-12
湾・ワン・浄化市民塾	西-13



東三河地域

音羽川の会	東-01
国府小学校区コミュニティ推進委員会	東-02
特定非営利活動法人 朝倉川育水フォーラム	東-03
特定非営利活動法人 表浜ネットワーク	東-04
特定非営利活動法人 佐奈川の会	東-05
特定非営利活動法人 てほへ	東-06
特定非営利活動法人 東三河自然観察会	東-07
特定非営利活動法人 穂の国森づくりの会	東-08
豊橋うみがめクラブ	東-09
穂の国の森から始まる家づくりの会	東-10
三河湾環境チャレンジ教育協議会	東-11

● 環境活動ワンポイントアドバイス!!

伊勢・三河湾流域ネットワーク



代表者 ● 共同代表世話人 / 寺井 久慈、井上 祥一郎、高山 進

設立年月日 ● 平成17年1月23日

主な活動場所 ● 伊勢湾・三河湾

主な活動テーマ ● 森づくり・川づくり・里海づくり

<http://www.isemikawa.net/>

活動の目的

市民の視点を中心に伊勢・三河湾流域の「保全」と「再生」につながる提案とその活動推進を図り、豊かな海とその流域の「自然と暮らし」を市民の手に取り戻すことを目的としています。その提案活動を市民、行政、研究者、企業の協働事業化によって実現を目指します。

主な活動内容

「味わって知る 私たちの海」や「山川里海セミナー」と題して定期的に講座を開催しています。また、フィールド活動として磯や干潟の観察会など、伊勢湾・三河湾を中心に幅広く活動しています。

■「味わって知る 私たちの海」の開催

わたしたちの海である伊勢湾や三河湾の自然の素晴らしさや楽しさと漁業の営み、海で生活する人々の声を都会の人々に伝えるために講座を開催しています。平成25年3月時点で60回開催しました。

■「山川里海セミナー」の開催

豊かな海を目指すために、山から海の流域一体となった取組を進めることの重要性を認識してもらうために、セミナーを開催しています。

■海の健康診断などのフィールド活動

干潟や磯に生息する生きもの観察会を通して、海の状態を観察します。



磯の生き物解説



「味わって知る 私たちの海」の開催



山川里海セミナー

団体アピール

当会は、身近な海である伊勢湾・三河湾の環境を良くすることを目的としていますが、そのためには海だけではなく、山～川～里～海の流域全体に視野をもって取り組まなければいけません。また、産・官・学・民の協働も目指します。山、川、里、海のグループはそれぞれの活動を行っていますが、繋がることの大切さを知り、連携しています。

一宮平成ホタルの会



代表者 ● 会長 / 伊藤 勝英 設立年月日 ● 平成12年1月22日

主な活動場所 ● 一宮市(大野極楽寺公園内野鳥園)

主な活動テーマ ● 郷づくり・まちづくり・川づくり

<http://www.hotaru138.com/>

活動の目的

ホタルの飼育をとおり、ホタルが生息できる環境、自然がどうあるべきかを考え、私たちの身近な自然環境を改善、保全、活用し、21世紀を担う子供たちとともに汗を流し、自然の不思議を知り、それを大切に守り育てていくことと共に、会員相互の親睦を図ることを目的としています。

主な活動内容

ホタルの飼育活動を中心として、ホタルが生息できる水辺環境の調査や環境改善のためのPR活動、そして、河川清掃などの身近な環境改善活動を行っています。

■ホタルの飼育活動

- ・ホタル小屋での室内飼育。
- ・野鳥園内の池及びホタル川における屋外飼育
- ・浅野公園における屋外飼育
- ・里親制度

■ホタルが生息できる水辺環境の調査、研究、創出活動

- ・野鳥園内にて池及びホタル川的环境整備
- ・野鳥園の清掃、監視、管理
- ・見学会、勉強会等

■PR、啓蒙活動

- ・環境シンポジウム、環境フォーラム等に参加
- ・小中学校の環境教育に参画
- ・ホタル観察会の開催の実施
- ・ホームページによる情報の共有コミュニケーションの場の拡充

■身近な環境改善活動

- ・木曾川、大江川などの河川清掃に参加
- ・野鳥園の竹の間引き
- ・緑化活動に参加



親子班会員によるホタルの幼虫の放流



竹細工教室



小学生による幼虫放流

写真提供：一宮平成ホタルの会

団体アピール

この地方にも、「昔はホタルがいくらでもおった。蚊帳のなかに入れて飛ばしたもんだ」と言いながら草刈り作業を行なっている年配の会員、子や孫たちにホタルを見せたいというおばあちゃんやおかあさんの会員などの皆さんが生き生きと活動されています。

将来は、ホタルだけではなく、野鳥や虫などさまざまな生物がすめる豊かな環境になるよう地道に取り組んでいきたいと思ひます。

岩倉の水辺を守る会



代表者●会長／奥田 信夫 設立年月日●昭和61年

主な活動場所●岩倉市

主な活動テーマ●まちづくり・川づくり

<http://www.mizube.org/>

活動の目的

昭和30年頃から都市化が急速に進むなか、川底には粗大ごみまで捨てられていました。この川を昔ながらの清流に戻そうと青年会議所のメンバーが川の清掃を実施。その後市民と行政が力を合わせ、よりよいものにしていくために設立しました。桜並木のある五条川は、岩倉の唯一の自然であり、市民にとって最も憩える場所であり、ゆとりと潤いを与えてくれる貴重な場所です。この水と緑を守り保全し活用し、環境を大切にしたい美しい町を作り出すために総力を挙げて頑張っています。

主な活動内容

昭和61年に設立以来、行政や他団体、地域住民と連携をとりながら清掃活動から生物棲息調査まで多岐にわたる活動に取り組んでいます。

■清掃活動

五条川の美化に向けて、市民と市内各種団体の参加支援を得て毎年3月には約5キロにわたって川床と堤防の清掃を実施しています。

■桜並木の保護育成

堤防の両岸に植栽された桜の保護育成と水と緑を守る活動の展開をしています。

■環境美化活動

五条川の堤防の環境を守るため、犬の糞害のゼロを目指し、流域住民、飼い主とともにキャンペーンを実施しています。

■青少年の環境意識の支援

毎年、8月に五条川において市内の子供たちに、自然の大切さ楽しさを実感してもらうために水辺祭りを企画・実施しています。

■生物の棲息調査

五条川に生息する魚の種類と分布状況を定期的にチェックし図鑑を作成しています。

■啓発活動

河川周辺の環境浄化を市民に啓発する機関誌を年2回発行しています。(市内全戸配布)



水辺まつり



生物の棲息調査



清掃活動

写真提供：岩倉の水辺を守る会

団体アピール

私たちは、地方の時代、心の時代になったいま「ふるさとの川・五条川」の緑と水辺を守り、より楽しく、美しい街を作り出すために、市民の総意、総力を結集して活動していきます。

大山川を愛する市民の会



代表者●世話人代表／坂下一喜 設立年月日●平成16年4月1日

主な活動場所●小牧市

主な活動テーマ●まちづくり・川づくり

<http://kintoun.bizcontact.jp/Box/ooyamagawa/>

活動の目的

小牧市に源流をなす大山川を「より市民に愛され、親しまれる川の姿を探し、川の清掃や美化・緑化活動を通じて」人のふれあいと地域の連帯感を深めるとともに、次世代の子孫に潤いのある豊かな自然を残すことを目的としています。

主な活動内容

「清掃・清水委員会」「親水・緑化委員会」「企画・広報委員会」の3つの委員会を組織し、各委員会が主体となり、大山川の美化・清掃活動や調査研究及び市民への啓発などの活動を行っています。さらに、企業及び行政とも連携し、大山川に関する様々な活動を行っています。

■清掃・清水委員会

- ・大山川クリーンアップ事業の企画運営を実施しています。
- ・年間を通して定期的に、河川区域の不法投棄防止に関する監視パトロールを実施しています。
- ・身近な水環境全国一斉水質調査への参加や独自での水質調査を実施しています。



大山川クリーンアップ行事



■親水・緑化委員会

- ・大山川の原因風景を取り戻す活動として、一般市民とともに河畔の草刈りや水辺の雑木伐採、水流阻害対策を行っています。
- ・河川管理者からの委託で、愛知コミュニティリバー推進事業（河川の草刈り作業の一部を地域住民の方々で構成されている団体へ委託すること）を実施しています。

■企画・広報委員会

- ・ホームページの更新と管理運営
- ・当会が設置した既設看板の維持管理及び新設看板の設置検討
- ・行政、商工会議所、企業、学校などとの折衝及び連携



大山川の草刈り風景

大山川の草刈りメンバー



写真提供：大山川を愛する市民の会

団体アピール

活動成果は、川の一部に過ぎませんが、水辺が少しずつふるさとの川を取り戻そうとしています。このことは地域住民の方々自主的に活動されている成果でもあります。少しずつではありますが川の姿も人々の意識も変わり始めていることを実感しています。今後も人とのつながりを大切に市民活動団体として、地道に活動して参ります。

最後に、新しい活動メンバーを募集中です。共に活動して頂ければ誠にありがたく、いつでもお待ちしております。

春日井市消費者グループ なすなの会



代 表 者 ● 会長 / 伊藤 幸子 設立年月日 ● 昭和63年11月25日

主 な 活 動 場 所 ● 春日井市 青少年女性センター 消費生活活動室

主 な 活 動 テーマ ● まちづくり・川づくり

活 動 の 目 的

なすなの会は、自らの消費生活に関する知識の向上及び消費生活の改善に努め、その成果を地域等に啓発することを目的としています。

また、市内の環境調査を続け、環境保全の啓発につとめます。

主 な 活 動 内 容

【環境調査】

■河川水質調査

平成2年より春日井市内の河川の水質を調査しています。近年では、市内7河川の15地点で、気温、水温、臭気、色、pH、COD、アンモニウム態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素、リン酸、透視度の測定を行うとともに、川や水辺の様子についても調査しています。

■大気汚染調査

平成7年より春日井市内の大気汚染の状況を調査しています。近年では、市内18地点で、試薬をしみ込ませた「ろ紙」を入れた捕集管を屋外に24時間つらし、測定器で二酸化窒素(NO₂)濃度を測定しています。

■酸性雨調査

平成3年より春日井市内で酸性雨調査を行っています。近年では、市内3地点で、特性のプラスチック製ロートと採雨管を使用して初期雨を採取し、パックテストでpHを測定しています。

■空間放射線量測定

東日本大地震による原発事故後の平成24年に、簡易放射線測定器で市内約100箇所の空間放射線量を測定しました。

【学習】

毎年、学びたいテーマを決めて学習や見学を行っています。

【啓発】

調査結果や学習結果を消費生活展で発表。生ごみ処理講座。リフォーム小物講座。フリーマーケット運営。



河川水質調査(水の採取)



水質測定



大気汚染調査



大気捕集カプセル

写真提供:春日井市消費者グループ なすなの会

団 体 ア ピ ー ル

私たちは、暮らしの中で色々なものを無意識に使っています。その中から会員が気になっているものを選んで改めて学ぶことで、いつも新たな発見があり、それが暮らしに役立っています。私たちが学んだ結果を消費生活展などで発表して多くの人と共に考え、暮らしに役立てたいと思います。

環境調査では、身近な川や大気や雨を調べることで、私たちの暮らしている地域の環境を知ることができます。幸い春日井市は特に悪い環境ではありませんが、調査結果を発表して、今よりもっと良い環境になるように、市民みんなで環境を汚さない暮らしを心がけたいと思います。

下地蔵川美化推進協議会



代表者●会長／大島 純朝 設立年月日●昭和54年4月

主な活動場所●春日井市、地蔵川

主な活動テーマ●川づくり

活動の目的

地蔵川は春日井市の中央部を流れているので、工場排水や生活排水が多く、水の汚れがひどくなりがちです。そこで、川の汚れがなく、多くの魚や水生生物が生息できるようにするために、自発的な浄化運動を行い、地域社会に貢献することを目的としています。

主な活動内容

昭和54年に設立して以来、行政や地元企業、そして、地域住民と連携をとりながら、河川美化活動や水質調査そして河川パトロールを行っています。

■地蔵川の河川美化活動

地蔵川の水の中や周辺堤防の清掃活動を、春と秋の年2回開催しています。秋のクリーン作戦には地元企業にも参加してもらい、地域一帯となって清掃活動を行っています。

■地蔵川の水質調査や河川パトロールの実施

水質調査は1ヶ月毎にCOD、pH、透視度の3項目を調査しています。また、河川の水質やゴミの不法投棄を監視するために、各町内の地域住民とともに河川パトロールを行っています。



地蔵川の清掃活動



団体アピール

毎年、春と秋のクリーン作戦の日に合わせて地蔵川の清掃を行っていますが、1日では終わらないためクリーン作戦の1カ月ほど前から役員で、少しずつ清掃を行っています。長靴を履いて川の中に入り清掃をするため大変な重労働ですが、自分たちのまちは自分たちで綺麗にするとの思いで一生涯清掃を行っています。地域住民の皆さんには、昔に比べると川が綺麗になったと喜ばれていますので、これからも清掃活動に取り組んでいきたいと思ひます。

地域環境活性化協議会



代 表 者 ● 代表 / 高橋 賢一 設立年月日 ● 平成18年2月18日

主な活動場所 ● 尾張旭市 ほか

主な活動テーマ ● 森づくり・まちづくり・川づくり・里海づくり

<http://www.tkkk.tk/>

活動の目的

愛・地球博の理念を継承し、次世代を担う子供達に森の自然、海の自然の大切さを観察や体験することによって認識してもらいます。また、企業及び学校との連携により環境活動を行い、森や緑の保全活動に取り組むことを目的としています。

主な活動内容

企業・地域住民・行政など多様な主体と連携しながら矢田川の清掃活動や矢田川における水循環再生活動として水質調査や水生生物調査を実施しています。また、子供達に森・川・海のつながりの大切さを認識してもらうため、海や山の環境観察体験活動を実施しています。その他、団体の活動状況を記載した家族新聞を定期的に発行しています。

■ 矢田川一斉クリーン大作戦

■ 矢田川における「水循環再生」活動(水質調査及び水生生物調査)

■ 次世代を担う子供達の森と海的环境観察体験活動

■ 環境フォーラムの開催

平成19年度にテーマ「水の自然と健康」と題して第1回目を開催。学識者による基調講演やパネルディスカッション、そして、地域住民との交流会などを実施しています。



東大演習林での水生生物調査



三河湾の豊かさを体験する地引き網体験



環境フォーラムの集合写真

団体アピール

自然から採れる恵みの大切さ、森・川・海での観察体験は環境活動だけでなく、心を鍛錬する場所でもある。その一環として自分たちの住んでいるまちだけでなく、県内のいろいろな場所を観察・体験することで新しい発見があり、その発見が子供達の感性を育む大きな基礎になればと思って活動しています。

天白・川辺の楽校



代表者●代表/村瀬 劭 設立年月日●平成12年7月3日

主な活動場所●名古屋市天白区 天白川流域

主な活動テーマ●まちづくり・川づくり

<http://island.geocities.jp/tennpakukawabe/index.html>

活動の目的

天白川とその流域を中心として、川に親しみ、川に学び、川の課題を知り、自然環境のすばらしさの維持・保全につとめ、川に関わる生活の楽しさや豊かさを次世代に伝承することを目的としています。

主な活動内容

「川を全体で考えてみよう」「川を知ろう」「川について学んでみよう」と天白川、植田川について関心のある方が集まり設立しました。

川に親しむ機会の少ない親子を対象に、川に学び、美しい自然のすばらしさを体感する様々なイベントや、小学校の総合学習の支援、ニュースレターの発行など「子どもの笑顔の見える川づくり」に取り組んでいます。

- 生き物観察と川遊びイベントの開催(毎年8月)
- 散策や探検などの川に親しむイベントの開催
- 天白川流域の小学校での総合学習の支援
- 生物や水質など川の自然環境調査
- 河川敷の樹木伐採や清掃などの保全活動
- 天白川流域などの目的を同じくする団体との交流
- ニュースレター(毎年1回)や冊子などの情報発信
- 行政の取り組みへの協力



川遊びイベント



水質調査の体験



小学校の総合学習の支援



ニュースレター



天白川ものしりガイド

写真提供: 天白・川辺の楽校

団体アピール

天白川は東海豪雨被害の後には、多自然川づくりによる改修工事がされて、都市河川としては源流から河口まで貴重な自然が豊かに残っています。この豊かな自然環境を保全して、次の世代に繋げていきたいと考えています。

特定非営利活動法人 愛知環境カウンセラー協会



代表者●会長／鬼頭 正克 設立年月日●平成10年10月3日

主な活動場所●愛知県全域

主な活動テーマ●森づくり・郷づくり・まちづくり・川づくり・里海づくり

<http://homepage1.nifty.com/eco-aa/>

活動の目的

環境の保全に関する知識・技術・経験の相互交流と、環境の保全に係る情報の収集・交換を行うとともに、市民・事業者の環境保全活動に対して、環境カウンセリングに関する事業を行い、環境の保全に寄与することを目的としています。

主な活動内容

環境カウンセラーは、環境保全分野での専門的知識や豊富な経験を生かして、市民や事業者の環境保全活動の取組を様々な面で支援する人材です。みなさんのエコ心、環境への取組を応援するために各種事業を実施しております。

■環境の保全に係る各種の施策・事業に対する協力

各種推進協議会の委員活動、「環境デーなごや」ブース出展、「こまきみらい塾」講師派遣等

■市民・事業者の環境保全活動に関する助言または指導

EA21地域事務局あいちの運営、無料相談会の開催(毎週木曜日)、「なごや環境大学」協働講義(前・後期のシリーズで開催)

■環境保全に関する知識・技術・経験の相互交流

勉強会・情報交換の場としてファラデー会議の開催(年6回)、環境カウンセラー研修の運営(受託事業)

■環境保全に関する情報の収集・交換

愛知環境カウンセラー協会広報誌の発行(年4回)

■環境保全に関する市民啓発

流域全体で三河湾浄化の取組を活性化するため、沿岸域の現状等について山から海につながる流域各地に情報発信するワークショップや現地観察会を開催。



ワークショップチラシ



ワークショップ参加者の集合写真



ワークショップの講演



ワークショップでの水質講座

団体アピール

専門分野の互いの知見を交換し、研修・研鑽を継続するとともに、事業者・市民のみなさんへの活動支援の拠点となるべく、自治体との協働など、幅広く、環境保全に資する活動を続けて行きたいと考えております。

特定非営利活動法人 香流川をきれいにする会



代表者●理事長／竹内 邦彦 設立年月日●平成20年9月7日

主な活動場所●名古屋市(守山区、名東区、千種区) 香流川

主な活動テーマ●まちづくり・川づくり

活動の目的

香流川流域の住民およびこれに関心をもつ市民に対して、環境の保全に関する事業を行うことによって、ゆたかな自然との共存を図り、もって自然ゆたかなまちづくり、社会づくりに寄与することを目的としています。

主な活動内容

香流川流域におけるまちづくりと自然ゆたかな環境保全に関する事業として、毎月の清掃活動、川あそび“生きもの見つけ”を実施するとともに、森林や里山、川、海をつないだ自然ゆたかな環境づくりの学術、文化、芸術の研究および調査に関する事業として、水源地めぐり、水質問題学習会を実施しています。また、月1回定期的に清掃活動を行っており、名古屋市内の香流川を4つの区域に分けて行っています。

- 香流川および支流、流域等におけるまちづくりと自然ゆたかな環境の保全に関する事業
- 森林や里山、川、海をつないだ自然ゆたかな環境づくりの学術、文化、芸術の研究および調査に関する事業
- その他この会の目的の達成に必要な事業



「エコフェスタ名東」での展示



清掃活動の様子



清掃活動の様子



川あそび
“生きもの見つけ”

写真提供：香流川をきれいにする会

団体アピール

香流川は、長久手市から名古屋市の守山区、名東区、千種区を流れて矢田川にそそぐ小さな川ですが、都市部を流れる川としては自然豊かに残る川です。

子供たちが遊べる川を残すために、清掃活動などを通じて地域の人たちが香流川に関心を持ち、環境意識を高めていくことを目指して活動しています。

特定非営利活動法人 祖父江のホタルを守る会



代表者●理事長／山内 晴雄 設立年月日●平成19年12月27日

主な活動場所●稲沢市

主な活動テーマ●郷づくり・まちづくり

<http://www.sobuenohotaru.or.jp/>

活動の目的

人とホタルが共生できる環境、すなわち多様な生物が生息できる豊かな自然環境の創造に向けた各種事業を行い、広く多くの人に対して、自然に対する関心を高めながら環境に係る問題の改善や解決を図ろうとする自然愛を育むことで、地域福祉の向上に寄与することを目的としています。

主な活動内容

田んぼは、ヘイケボタルだけではなく、今や絶滅危惧種となったメダカ、見かけることが少なくなった赤とんぼ(アキアカネ)やカエルなど、さまざまな生物の生息環境としてとても重要な役割を持っています。これまで、「ゆりかご田圃と水田魚道」プロジェクトを進めてきましたが、さらに、「実験田プロジェクト」として、田んぼの生き物にとって厳しい用排水分離の水利環境を工夫して水田除草防除にも農薬に頼らない実験田で、生き物(ホタルも含めて)の生息のようすや変化を調査する活動を始めました。見事な水田の生物多様性が見られるようになり、近隣の小中学校の学習の場としても活用していますが、これが実際の“農(稲作)”としての生業が成り立たなければ、本当の環境保全になりません。水田での米以外の生産物の研究についても近隣の大学と共同で進めながらこれからの農業のありかたについても、多くの方とともに考えていきます。

- ホタルの生息調査・水質調査等の調査活動事業
- ホタルをはじめ生き物の生息環境を守るための環境保護活動事業
- 実験田を中心とした生き物観察会(小中学生・親子・一般対象)など、
生物多様性に関する学習・研修事業
- その他、ホタルの生息を守るために必要な事業



水田と水路の水がつながる実験田



実験田水路を泳ぐメダカの群れ



ホタルの飛翔数調査



親子自然観察
(ともに実験田にて)

写真提供: 祖父江のホタルを守る会

団体アピール

多くの地域で見られなくなったホタルですが、祖父江には自然自生の田んぼのホタル(ヘイケボタル)が見られます。しかし、ここ数年で急激に生息数も生息地も激減しました。他の生き物の状況も同様です。田んぼに何が起きているのでしょうか。

ホタルの保存を核として、生物多様性と農業の生業について、いっしょにアイデアを出し合いませんか？

特定非営利活動法人 トンボと水辺環境研究所



代表者●理事長／宮田 賢輔 設立年月日●平成15年8月19日

主な活動場所●愛知県尾張地区 ほか

主な活動テーマ●まちづくり・川づくり

http://www.geocities.jp/tombo_mizube/

活動の目的

広く一般市民に対して、水辺環境の保全、復元、共生の為の提案、設計、施工、情報収集、研究、研修に関する事業を行い、水辺を中心とした豊かな自然環境の保全、復元を通して公益の増進に寄与することを目的としています。

主な活動内容

平成15年の設立以来、学校ビオトープ、バイオガーデン、自然環境講座、環境保全に関する情報収集、提案などの事業を実施しています。また、五条川の再生のため多自然な川づくりにも取り組み、水生植物植栽や定期調査などを行っています。

■学校ビオトープ事業

愛知県(尾張地区)、岐阜県(各務原市)の小学校にて、ビオトープを設計・製作を実施しています。

■バイオガーデン事業

大小各種ビオトープ池などの設計、造成、維持、管理を実施しています。江南市しみず公園など

■地域活動

江南市主催の環境フェスタや一宮市主催の一宮リバーサイドフェスティバルに参加しています。

■生き物集まれ五条川

五条川を生きもの豊かな川に再生するため大口町内での五条川の一部で水生植物植栽を実施。近隣の小学校の子供達や一般市民とともに活動を行っています。



五条川の水生植物植栽



学校ビオトープ整備

写真提供:トンボと水辺環境研究所

団体アピール

私たちは、「自然や生き物の命の大切さがわかる人づくり」「地域の生き物を守り、増やして行くこと」を目指していろいろな活動を繰り返しています。

多くの方が参加できる活動も行っていますので、皆様のご参加をお待ちしております。

特定非営利活動法人 土岐川・庄内川サポートセンター



代表者 ● 理事長 / 宮田 照由 設立年月日 ● 平成18年2月25日

主な活動場所 ● 土岐川・庄内川流域

主な活動テーマ ● 森づくり・まちづくり・川づくり

活動の目的

土岐川・庄内川の流域圏が一体となった地域づくりを図るため、その根幹となる土岐川・庄内川に関心を持つ人に対して、流域一体となったイベントや広報の実施、ネットワークの強化を図るための活動拠点となる施設の運営管理を行い、市民・企業・行政間のパートナーシップの確立を図り、もって公益の増進に寄与することを目的としています。

主な活動内容

流域一体となった川づくり・地域づくりのために、調査活動、整備活動、体験型学習活動を実施しています。また、活動に広がりを持たせるため、他団体との交流会も開催しています。

■ 調査活動

地域住民、行政、民間企業などの多様な主体と連携しながら、矢田川で川の健康診断(水質、生物、流量などの調査)や生き物調査を実施しています。

■ 整備活動

地域住民、行政、民間企業などの多様な主体と連携しながら、川の清掃活動や川岸などの草刈りを行っています。

■ 体験型学習活動

上流域で活動している団体と、愛知県内の団体と連携し、源流の間伐材を使った箸作りなどの工作教室を行ったり、上流域の森の学習を行っています。また、活動を通して、流域での水と物質の循環を学びます。



生き物の解説



箸作りの工作教室



矢田川の清掃活動

団体アピール

調査活動、整備活動、体験型学習活動の3本の柱を立体的に進めることで、水と緑の恵みと、それが源流域の森と流域のつながりの中で支えられていることを体験を通して知ってもらいます。そして、水と緑の恵みと流域一体のつながりの大切さを県民の中に広げ、活動の担い手を育てるために活動しています。

特定非営利活動法人 どんぐりモンゴリ

代 表 者 ● 理事長 / 角和 保明 設立年月日 ● 平成17年12月1日

主 な 活 動 場 所 ● 長久手市モリコロパーク、加子母、東栄町植林地 ほか (中国内) モンゴル自治区ホルチン沙漠 烏雲森林農場

主 な 活 動 テーマ ● 森づくり・郷づくり・里海づくり

<http://www.mongori.jp/>



活 動 の 目 的

日本国内では水源地へのどんぐりウォーカーの育成と苗木づくり、植林を行う啓発活動の実践活動。黄砂の発生現地、内蒙古の沙漠緑化とモンゴリ(蒙古樺: Mengli)の苗木作り、植林活動を通して地域住民の生活向上と子供たちの教育を支援します。

主 な 活 動 内 容

日本国内の幼稚園、小学校でどんぐり授業を開催し、どんぐりの森の生態系と森林や河川、海に与える影響を学習して、子どもたちが育てたマイ苗木を水源地へ植林する活動をしています。沙漠化によって貧困化した家庭の子供たちの学習支援をするとともに、家族たちと一緒にモンゴリ苗木の育成と植林を行っています。

■日本国内の活動

・水源地の森づくり

岐阜県加子母や愛知県東栄町で植林活動を行うとともに、水源地の住民と水の恩恵を受けている子供たちと植林を通して交流を行っています。

・東北支援活動

3.11大津波で多くの緑と生き物を失った被災地へ東北植生のタブノキ、ドングリ、ヤマザクラ、ヤブツバキ等の苗木を育て、優しい風景、生きもの復活を願い、苗木を送るプロジェクトを行っています。

■中国内モンゴルでの活動

子供たちとともに、苗木づくりで沙漠緑化再生を学ぶなど、沙漠緑化再生活動を行っています。また、日本語や生物多様性についても学んでいます。



どんぐりウォーカー苗木づくり



岐阜県加子母水源地の森づくり



宮城県岩沼市「千年希望の丘植樹祭」



マイどんぐりを
東栄町植林地へ

写真提供: どんぐりモンゴリ

団 体 ア ピ ー ル

現在、最も力を入れている活動は水と生き物を育む森づくりです。

国内においては東海地域を中心として、どんぐりウォーカー(どんぐり学び、育て、植林する人)を育成し、水源地の森づくり啓発活動を行っています。いずれも子供たちを中心とした、子供たちができる苗木づくり、植林活動を通して、21世紀を担う子供たちが、健全に育ってくれることを願っています。

東北支援活動:いのちを守る緑と生き物の復活。森の防潮堤づくりと日本へ飛来する黄砂の発生現地内モンゴルホルチン沙漠にも来てください。

特定非営利活動法人 藤前干潟を守る会



代表者●理事長／亀井浩次 設立年月日●平成15年7月1日

主な活動場所●名古屋市、藤前干潟 ほか

主な活動テーマ●まちづくり・川づくり・里海づくり

<http://fujimae.org/>

活動の目的

藤前干潟と関連する環境の保全と修復をはかり、「名古屋の環境政策の原点」としての歴史的・社会的意義を伝えることを通して、良好な自然環境の維持と持続可能な社会形成に寄与することを目的としています。

主な活動内容

稲永ビジターセンター、藤前活動センターの管理・運営、環境保全のための人材を育成するガタレンジャー養成事業、環境教育としてガタレンジャーJr.事業を実施しています。また、干潟の学校・干潟体験学習事業、伊勢湾流域圏の環境再生をめざした活動など幅広く活動しています。

■ 藤前干潟での底生生物の調査や観察会の実施

■ 藤前干潟に集まる渡り鳥飛来の調査や観察会の実施

■ ヨシ原での生物調査

ヨシ原及び周辺の砂泥地には多様な生物が生息しているので、生態系の監視を行うとともに、環境学習の場として調査をしています。

■ 藤前干潟クリーン大作戦

毎年、春と秋に藤前干潟の清掃活動を他団体や地域住民とともにを行っています。



干潟の生物調査



藤前干潟



ヨシ原の生物調査



藤前干潟クリーンアップ大作戦

写真提供：藤前干潟を守る会

団体アピール

平成14年11月に藤前干潟がラムサール条約登録地に指定されました。それは、渡り鳥の渡来地である干潟の恒久保全をめざしてきた私たちの重要な目標でした。しかし、これで終わったわけではありません。これは、私たちがめざす、最終ゴールへのあらたな出発点であり、跳躍台だと考えています。私たちは、未来の世代を含めたすべての生命がこの地球で心ゆくかに、持続的に暮らしてゆける社会をめざして、共感を広げ、力を合わせて、活動をしていきます。

NEXPO (長久手・万博継承会)



代表者●代表/加藤 義郎 設立年月日●平成17年5月13日

主な活動場所●愛知県長久手市

主な活動テーマ●まちづくり・川づくり

<http://www.geocities.jp/nexpo3671/>

活動の目的

万博ボランティアの中で、おもてなしの心、他人が良かったなあと喜んでくれる気遣う心を組織的に実践した貴重な体験を継承して、住民の生活環境の保全意識の向上を図り、地球的視野で環境を考え、住民、民間団体、事業者、行政が協働する社会を形成するために、まちづくりの推進を図る活動、環境の保全を図る活動や同じ趣旨で活動を行う団体の援助などの活動をするにより、郷土の住みよいまちづくりに寄与することを目的としています。

主な活動内容

目的を達成するために組織内に4つの部会(環境部会、リニモ部会、美化部会、イベント部会)を設けて活動しております。

■環境部会

私たちが暮らす身近な街の環境問題を足元から見直し改善の一助となる活動をしたいと考え活動をしています。

- ・沓ヶ池の水質調査及び生物調査、沓ヶ池プロジェクト
- ・地域で実施される清掃活動への参加 など

■リニモ部会

リニモは、地元が誇る交通施設であり、地域住民が親しみ・愛する施設であって欲しいと考えています。そこで、駅などの美化を始め様々な面で自主的な関わりを持ちたいと考え活動をしています。

- ・リニモギャラリーの開催、リニモのバリアフリー点検、など

■美化部会

「愛・地球博」が残してくれた素晴らしい事の一つに「楽しさ」があります。長久手市が、より「楽しい」街になるようにしたいと考えて次のような活動をしています。

- ・モリコロ公園でのコスモスの植え替え 地域の花植え 植樹 植樹後の草刈りなど

■イベント部会

万博は、わが郷土にすばらしい心の資産を残してくれました。郷土の住民の誇りです。この誇りを次の世代に伝えるとともに、住みよく楽しいまちづくりに寄与したいと考え活動をしています。

- ・長久手市やモリコロ公園などが実施する各種イベントなど



清掃活動の様子



沓ヶ池の
水質調査の様子

写真提供:NEXPO(長久手・万博継承会)

団体アピール

ボランティア活動などでは、きまって、エラー・ミステークがあります。「どうしたの」「どうするの」と言ってもどうにもならない場合があります。そんな時、お互いのエラー・ミスを温かく見守っていただき、「ええじゃないか」と一笑しましょう。

「ええじゃないか」の気持ちを大事にしながら活動をしています。

あなたも一緒に活動しませんか。

モリコロの川を守るプロジェクト



代表者●会長／川原 明彦 設立年月日●平成19年9月25日

主な活動場所●瀬戸市、尾張旭市、矢田川 ほか

主な活動テーマ●川づくり

<http://morikoro no kawa.blog70.fc2.com/>

活動の目的

愛・地球博の理念を踏まえ、矢田川及びその支川の河川環境の整備改善活動、川に関わる行事を通じて、地域住民の川の環境や水質への関心を高めるとともに、地域内及び流域全体の住民の交流を深めて、水環境の改善活動を発展させ次世代に継承することを目的としています。

主な活動内容

瀬戸市内の矢田川周辺の住民とともに、地域間交流の活性化事業や水質調査や生物調査を通じた河川環境の整備を行っています。また、定期的に広報矢田川を発行しています。

- 河川及び周辺環境の改善・整備に関すること
- 河川を活用した地域交流及び地域間交流の活性化に関すること
- 水質の調査、改善に関すること
- 広報、啓蒙活動に関すること
- モリコロ自然探検隊の実施

将来を担う子供達を対象として、矢田川上流域(海上の森や東大演習林)で、森と水の関係や水生生物、営巣状況について観察・学習するとともに、下流域(藤前干潟)で、鳥類の生態観察を行い、森から海へと水の大切さなどを学習する事業を開催しました。



野鳥観察



東大演習林での生物調査



野鳥の営巣状況



団体アピール

矢田川の最上流部瀬戸市から中流部である尾張旭市に至る各地域の自治会、地域団体、市民団体と、趣旨に賛同する多くの人々が結集し、矢田川の環境の整備改善活動や川に関わる行事を通じて、地域の人々が川の環境や水質への関心を高めることで「きれいな水を森から海へ」を実現させるために活動しています。

矢田川(モリコロの川)の環境・交流を未来に残していきましょう。

矢田・庄内川を きれいにする会



代 表 者 ● 会長 / 宮田 照由 設立年月日 ● 昭和50年5月24日

主な活動場所 ● 庄内川流域

主な活動テーマ ● 川づくり

<http://www10.atpages.jp/kireinisurukai/hara1.html> <http://blog.c.anpan.info/kireinisurukai>

活動の目的

庄内川水系を汚す全ての汚染源に対し、きれいで快適な生活環境を取り戻し次世代に引きつぐとともに、農育活動をととして食糧問題に取り組み、次世代の食の安定を目指すことを目的としている。

主な活動内容

毎年の魚釣り大会、看板の設置などの河川愛護啓発活動、募金活動、環境維持活動、庄内川のビオトープ整備など行政・企業・住民が一体となった活動を行っています。

- 庄内川まつり・魚釣り大会を毎年実施
- 庄内川の生物調査(アユ, ウナギ, サツキマス, 二枚貝調査)を実施
- 庄内川の河川環境の整備のため「川の汚れは心の汚れ」の看板の設置、庄内川の堰や魚道の調査
- 矢田川において身近な水辺環境の再生と川の健康診断を実施
- 才井戸流における環境保全活動を実施。ホテル観賞会・ビオトープの整備
- 庄内川水系の河川環境の調査結果から行政への提言を行う



庄内川まつり・魚釣り大会



庄内川を筏で川下り

写真提供: 矢田・庄内川をきれいにする会

団体アピール

庄内川は数十年にわたり、全国一級河川の中で水質ワースト10の汚名をきせられています。私たちは庄内川が住民にとって安全で安心して遊ぶことができ、庄内川に生息する魚や貝が安心して食べられるような水質になるように努力しています。皆さんも是非この活動に参加してください。